



南部町立南部中学校 学校だより 第1号

千一ム南部中

令和4年4月13日(水)
校長 望月和彦

令和4年度がはじまりました



春は別れと出会いの季節です。先月25日、5名の教職員を送り出し、学校は寂しい気持ちに包まれましたが、4月6日新しい10名の教職員を迎えて新任式を行いました。新任職員は田邊靖博教頭、望月清一教諭、小池敏教諭、網野永一教諭、望月大教諭、工藤花教諭、石原一樹教諭、石川果歩教諭、佐野葵教諭です。(遠藤友佳子非常勤講師は都合により欠席)教職経験の長い教員や過去に本校での勤務経験のある教員もいれば、距離が離れた地域から南部町に赴任した教員や3月に大学を卒業したばかりのフレッシュな教員もいます。10名の新任職員は皆教育に情熱を持った方々です。新たな力と新しいアイ

ディアを取り入れて、南部中教育をさらに前進させていきたいと思えます。新任式では、生徒を代表して芦川圭澄生徒会長が温かい気持ちのこもった歓迎の言葉を述べてくれました。

新任式に続いて、令和4年度1学期始業式を行いました。式では代表の生徒が新年度を迎える決意を発表しました。2年の若林実希さんは「2年生として自分のことだけでなく、1年生のことも考えられるように、視野を広げていきたい。良いことも悪いことも指摘し合いながら、2年生一人一人が自覚を持って成長していきたい。」3年の渡辺琉偉さんは「今日から最高学年のスタート。2年生の時にできるようになったことを当たり前にしたい。卒業していった先輩たちはかっこよかった。そんな先輩にぼくたちも慣れるように変わっていききたい。リーダーになる人もリーダーを支える人も、人任せではなく自分から行動することを心がけて、南部中文化を守り、さらにより良い学校を目指していきたい。」生徒会副会長の鈴木湊羅さんは「2年生は先輩として責任と覚悟を持って後輩をリードしてもらいたい。3年生は“学校の顔”としてふさわしくあることを意識していきたい。仲間を見つめ、自分を見つめ、個性を尊重しながらチームとして成長していきたい。」3人の発表は、学年の生徒や全校生徒を代表して、とても中身の濃い内容でした。これから始まる一年間で、生徒たちがどのような成長を遂げるかとても楽しみです。始業式後には、教室棟の廊下に新しいクラスの掲示がなされ、生徒たちの歓声が響いていました。

50名の新しい仲間を迎えて

始業式の翌日4月7日(木)に第12回入学式を行いました。式場の体育館や1年教室は、式に参加できない2・3年生が前日に心を込めて準備や飾り付けを行ってくれました。当日の朝、真新しい制服に身を



包み少し緊張した面持ちで新入生50名が保護者と一緒に登校してきました。佐野和広南部町長様、入月一巳教育長様をはじめとする来賓の皆様が見守る中、厳粛な雰囲気の中にも温かな気持ちの溢れた入学式となりました。学級担任の呼名に緊張しながらも応える声や起立して前をしっかりと見据える眼に、「中学校で成長していこう」という50名の強い気持ちを感じることができました。新入生代表の佐野吉成さん

は「僕たちは、どんなときにも友だちと助け合い、誰にでも思いやりの気持ちを持って、悔いのない三年間にすることを誓います。」と堂々と決意を述べました。本校は新入生 50 名を迎えて、全校生徒 139 名となります。山梨県の最も南の端に位置する本校ですが、明るく、何事にも真面目に一生懸命に取り組む 139 名の生徒たちと情熱を持った 36 名の教職員で「山梨県の南にキラリと光る学校」をつかっていきたいと思いをします。

私は式の中で、次のようなお話しをさせていただきました。



(前略) 本校には、学校生活の中で大切にしてほしい三つのことば、『校訓』というものがあります。

一つ目は、「明朗親和」です。学校生活を明るく元気に過ごし、友だちや先輩と協力し、ともに成長していくということです。そのためには、周りに対する思いやりの心が必要であり、いじめや差別などは絶対に許さないという気持ちを持つことが大切です。そして、仲間や先輩たちと様々な活動に取り組むことを通して、皆さんを含めた全校百三十九名の生徒が南部中生としての強い絆をつかってほしいと思います。

二つ目は、「質実剛健」です。見た目よりも中身を大切に、物事に誠実に取り組み、心や体を逞しくしていくことです。授業や部活動、様々な行事や活動に真面目に取り組む、自分自身の心や体を鍛えてください。皆さんにはたくさんの可能性が秘められています。苦手なことや苦しいことにも果敢にチャレンジして、失敗や困難を乗り越えながら、可能性を自分の新たな力に変えてほしいと思います。自分で乗り越えられないときには、仲間や先輩、先生や家族などに相談してみることも大切です。

三つめは、「自主自律」です。物事を自分自身で考え、何が正しいのかを判断し、自ら行動していくということです。小学校では先生の指示に従って行動することが多かったと思いますが、中学生になると先生や家族や様々な大人からアドバイスを受けながらも、最終的には自分自身で考え、判断していくことが多くなります。より良い判断をするためには、物事には様々な見方、考え方があることを知ることが重要です。この三年間で多くのことを学び、考え、体験するなかで、自分自身の判断力、行動力を高めてください。そして三年後には、自分に最もふさわしい進路を選択し、切り拓く力を身につけてほしいと思います。(後略)



令和4年度の南部中教職員です よろしくお願ひいたします

分掌・担当	氏名
校長	望月 和彦
教頭	田邊 靖博
教務主任	佐野 希
教務副主任	青木 直之
養護教諭	佐野 舞
事務職員	朝夷 孝明
学校司書	若尾 圭
用務員	高山 朱美
A L T	ロレソ・モンソソ
1 学年主任	山本 佳久
1 A 担任	網野 永一
1 B 担任	雨宮 文

分掌・担当	氏名
ふれあい担任	石原 一樹
1 学年所属	松山 京介
1 学年所属	渡邊 武志
2 学年主任	望月 美彦
2 年副主任・あじさい担任	稲葉 里美
2 A 担任	遠藤 浩正
2 B 担任	工藤 花
あすなる担任	望月 清一
2 学年所属	石川 果歩
3 学年主任	保坂 伸也
3 学年副主任	望月 大
3 A 担任	岩崎 真也

分掌・担当	氏名
3 B 担任	飯島 健太
3 学年所属	小池 敏
3 学年所属	佐野 葵
非常勤講師	遠藤 喜大
非常勤講師	前田 幸子
非常勤講師	遠藤友佳子
支援員・心の教室相談員	佐野美佐子
支援員	青山 真弓
支援員	井上 裕子
栄養教諭	河西 和美
部活動指導員	石川啓一郎
スクールカウンセラー	内藤 雅人

※南部町及び南部町教育委員会の強力なサポートにより、昨年度より 5 人多い教職員となりました。